

# 海外トピックス

## 静岡県海外駐在員報告

2026.

1

静岡県企画部地域外交課



静岡・シンガポールアグリフードフォーラム

### 東南アジア

第6回 静岡・シンガポールアグリフードフォーラム開催

タイ市場最大規模の訪日旅行フェアで静岡県をPR！

### 中国

福建省・廈門(アモイ) から台湾を眺める～兩岸の暮らし交わる現地のリアル～

### 韓国

韓国最強eコマースの日本再挑戦と揺らぐ信頼

魅力溢れる全北、新空港計画の行方は？

### 台湾

台湾ラジオ番組で静岡県の魅力を発信

台北駅・中山駅付近での無差別殺傷事件

# 東南アジア駐在員報告

駐在員：村川 未帆

## 行政

### 第6回 静岡・シンガポールアグリフードフォーラム開催

本県は、AOI（アグリオープンイノベーション）プロジェクトの海外展開として、シンガポールの3つの工科大学（ポリテクニク）等と連携し、農業・食品分野の協力を目的とした「静岡・シンガポールアグリフードフォーラム」を交互に開催しており、当事務所も、本県とポリテクニク等との連携やフォーラムの運営を支援している。

第6回フォーラムは、昨年12月に沼津市で開催され、シンガポールからポリテクニク、アグリテック関連企業、政府関係者など約30名が来静した。フォーラムは、平木副知事と、リパブリックポリテクニク副学長の挨拶から始まり、「持続可能な農業のための気候変動対応型技術」をテーマに、両国企業や研究者による基調講演、パネルディスカッション、連携成果の発表、最新技術をPRするプレゼンテーション等が行われた。

国土面積が小さく、食品の多くを輸入に依存するシンガポールでは、食料安全保障の強化に向け、本県の技術や人材への期待が高まっている。本年は日・シンガポール外交関係樹立60周年の記念の年であることから、シンガポールのポリテクニク側からは、本年シンガポールで開催予定の第7回フォーラムは、ビジネスマッチングや人材交流を更に発展させる盛大なものにしたいとの意気込みが語られた。当事務所としても、本県とシンガポールとの連携強化に向け、引き続き積極的に支援していく。

## 経済

### タイ市場最大規模の訪日旅行フェアで静岡県をPR！

昨年11月下旬、バンコク中心部で開催された訪日旅行フェア「Visit Japan FIT Fair」に、浜松市と共同でブース出展し、県内観光地をPRした。富士山、茶畑、奥大井湖上駅、はままつフラワーパークなどの絶景ポスターに多くの来場者が惹きつけられ、3日間を通して本県ブースは賑わいが続いた。

タイでは、SNSを通じて富士宮地域の富士山や自然景観が広く知られており、ピンポイントで「富士宮市に行ってみたい」という声が多く聞かれた。訪日リピーターが多く、自由にレンタカーで地方を巡りたい人が増えていることから、富士・富士宮周辺のモデルドライブルートに加え、長期滞在希望者向けには、温泉や果物狩りなどの体験が楽しめる県中部・西部・伊豆地域の具体的なドライブルートも提案した。その結果、「次回の日本旅行ではぜひ静岡県を訪れたい」という反応が多くあり、手応えを感じた。

また、会場ではJNTOが起用したタイ人インフルエンサーのステージイベントも行われていた。芸能人並みの人気で多くの来場者が写真撮影のために列を作るなど、タイにおけるSNSやインフルエンサーを活用した情報発信の影響力の大きさを改めて実感した。今後、当事務所としてもSNS発信の強化やインフルエンサーの活用を通じ、本県の魅力発信と更なる誘客に取り組んでいきたい。





# 中国駐在員報告

駐在員：石川 祐介

## 社会・時事

### 福建省・廈門(アモイ)から台湾を眺める～兩岸の暮らし交わる現地のリアル～

昨年末、衆議院予算委員会での首相による「台湾有事発言」を契機に日中関係は急速に冷え込んだ。12月29、30日には台湾周辺で大規模な軍事演習が行われるなど緊張が高まる中、現地の人々はどのような生活を送っているのか？その現状を確かめようと福建省・廈門へと向かった。

上海から飛行機で約2時間、福建省は、古くから海洋シルクロードの要所として茶の輸出で栄えてきた。同省からは約1,500万人が世界各地に移住したとされ「華僑の故郷」とも言われる。沿岸都市の廈門は、年中温暖な観光都市として知られるが、1981年には経済特区に指定され、近年はAI・バイオテクノロジーなど先端技術でも注目される地域だ。



空港からタクシーで市街地に向かうと、初老の運転手が現地の暮らしぶりを教えてくれた。多少の緊張を感じつつ「兩岸の緊張は暮らしに影響しているか？」と尋ねてみると、「影響は特にないね」とあっけなく返された。現在、中国大陆から台湾への渡航には厳しい条件が課



されているが、「福建省の住民は台湾と血縁が深く例外的に渡航が容認」され、仕事や親戚づきあいでの往来や、親族を頼って台湾から廈門に留学する学生も多いそうだ。「廈門タワーから台湾が見えるぞ」と勧められて登ってみると、金門の島影がはっきりと見える。パスポートがないと渡航できず、台湾ドルで暮らす土地が、目と鼻の先に広がっている。(廈門から直線距離で約2km・フェリー30分)

翌朝、廈門と金門島を結ぶフェリー乗り場を訪れると、船便は1時間に1便の頻度で運航し、多くの渡航者で賑わっていた。声をかけてきた客引きは、人民元と台湾ドルの両替や、通信システムが異なる兩岸の格安Wi-Fiを貸し出して日銭を稼いでいるという。廈門に到着した男性(金門島で土産店を経営)に話を聞くと、金門島は共産党軍と国民党軍が戦火を交えた歴史もあるが、現在は島内の60～70代が廈門のマンションを買い求めるのがブームで、今回は友人の新居を訪問するため廈門を訪れたという。現在、台湾のメディアでは日中関係の悪化を懸念する報道ばかりだとして、「日本を心配しているよ」と笑われた。

夕刻、廈門の八市海鮮市場を訪れると「歡迎台湾同胞回家(台湾の同胞おかえりなさい)」と掲げる飲食店が並んでいた。日暮れ前から満席となる人気店では、台湾からの常連客も多いという。日本のメディアでは激しい舌戦ばかりが報道される兩岸関係だが、足元では、地縁や血縁が密接に絡み合い、人と金が活発に行き交っている。



# 韓国駐在員報告

## 駐在員：石ヶ谷 彰英

### 経済・社会

#### 韓国最強 e コマースの日本再挑戦と揺らぐ信頼

先日の帰国の際、「ロケットナウ」というフードデリバリーの電車広告を都内で見かけた。印象的なポスターということもあって、気になり調べてみると韓国最大手の e コマース企業である「Coupang（クーパン）」が日本国内で展開している事業だという。2025 年 1 月に東京でサービスを開始し、その後、大阪、名古屋等に拡大中とのこと。テレビ CM も放送されていて、対象地域では「ロケットナウ」の知名度が上昇しているようだ。

クーパンは 2010 年に設立された韓国最大のネット通販サイトで、その迅速さと利便性で韓国市場を席巻しているが、日本ではこれまで東京の一部エリアでクイックコマースサービスを提供したものの上手く行かず数年で撤退した経緯がある。

今回はフードデリバリーサービスでの日本再進出であり、著名な俳優を起用した広告展開が効果的なようだが、このクーパンが最近は個人情報流出事件で韓国社会を騒がしている。

昨年 11 月 29 日、クーパンは 3,370 万件もの顧客情報が、海外のサーバーを通じて外部に流出していたことを発表。当初の発表（同月 18 日）では約 4,500 件としていたが、調査の結果、7,500 倍の規模に拡大したことや、早期把握が出来なかったことに批判が集まっている。

人口約 5,180 万人の韓国での 3,370 万人の大規模情報流出は政府も動かしており、関係省庁からなる調査チームを立ち上げ原因究明と被害拡大の防止に注力している。また、李在明（イ・ジェミョン）大統領もこの件には大いに苦言を呈しており、企業の過失に対する経済的な制裁強化を求めたほか、クーパンの夜間配達員の健康問題にも言及。税務調査も入るなど、様々な糾弾を受けるクーパンであるが、自社物流網を活用した「当日配送」の便利さになれた利用者はクーパン離れが出来ず、いったん脱退してから再加入する会員もいるようだ。

得意の「当日配送」のノウハウを生かして、日本市場に再チャレンジのクーパン（ロケットナウ）であるが、今回は果たして静岡の地までたどり着けるだろうか。

### 行政

#### 魅力溢れる全北、新空港計画の行方は？

日韓の地方自治に関するセミナーに参加するため、全北特別自治道庁を訪問した。「全北特別自治道」は、これまでの「全羅北道」が有する特性を生かしつつ、より高度な自治権が保障される「特別自治道」として、2024 年 1 月に発足した広域自治体である。

道庁が位置する全州（チョンジュ）市は人口約 63 万人。歴史文化の面では韓屋村（ハノクマウル）などの人気スポットがあり、食文化の面では全州ビビンバなどが有名で充実した観光資源を有している。しかし、海外からの誘客において不利な立地であることは否めない。

今回ソウルからバスで移動したのだが、休憩時間を除外しても 3 時間はかかっている。帰りは KTX（韓国高速鉄道）で約 2 時間。さらにソウルから仁川（インチョン）国際空港までの時間と距離を考えると、旅行が好きな方でも気楽に行ける場所ではない。全州からバスで約 1 時間の南原（ナムウォン）も魅力的な観光地だが、移動はさらに大変である。

アクセス向上の切り札として期待されるのが、道内に計画されるセマングム空港である。干潟を埋め立て 2028 年の完工を目指していたが、反対派住民の訴えを昨年 9 月に行政裁判所が自然環境や鳥類による危険性等を理由に認め、建設にブレーキがかかっている。観光資源を活かし飛躍を期したいところだが、この問題をどう解決するかが今後の鍵と言えよう。

## 台湾駐在員報告

### 駐在員：市川 美奈子

#### 行政

#### 台湾のラジオ番組で静岡県の魅力を発信

11月26日、台湾のラジオ放送局である台湾国際放送（Rti）の日本語番組「とっても台湾」に出演し、本県のPRを行った。

同番組は台湾在住の日本人俳優である馬場克樹氏がパーソナリティーを務める人気番組だ。普段の放送では、馬場氏が、台湾の日常生活、歴史・文化、自然・風景などを題材に自身が感じたことを日本語で紹介しているが、月に1回、台湾在住の日本人または日本語が堪能な台湾人や外国人をゲストとして招いて、台湾の様々な話題についてライブ配信を行っている。今回は11月のライブ配信のゲストとして声を掛けていただいた。

番組では、弊所の概要や業務内容を紹介したほか、本県が台湾からの教育旅行の受入に力を入れていることや、11月17日から12月31日まで、台北の居酒屋で「静岡フェア」が開催されており浜松餃子や静岡おでんを味わえることなどを紹介した。また、富士山はこれから冬にかけて雪が積もり、非常に美しい姿になるため、冬は静岡県内の至るところで富士山の絶景を楽しめる観光シーズンであることもアピールした。

日本語で放送されている番組だが、リスナーには、日本語を勉強している、または日本に興味のある台湾人が多い。日本に興味のある台湾の方が、この番組をきっかけに、本県にもより一層の興味を持ってもらえることを期待したい。【ライブ配信の告知画像】



#### 社会・時事

#### 台北駅・中山駅付近での無差別殺傷事件

12月19日、台北の中心部である台北駅と中山駅付近で、無差別殺傷事件が発生した。事件が起こったのは、台湾の鉄道網の要である台北駅と、「台湾の銀座」と称される繁華街である中山駅付近。台湾に駐在する日本人にとっては日々の生活圏であり、日本から出張者や旅行者が来ると、真っ先に案内するエリアでもある。そんな身近な場所で起こった事件は、台湾社会に大きな衝撃を与えた。

容疑者は兵役逃れに関わる容疑で指名手配されていた。容疑者のタブレットには「犯行計画書」が保存され、地図に攻撃予定箇所も入力されていたという。これまでに3人が死亡したほか、11人が重軽傷を負っている。亡くなったうちの1人は容疑者の計画を発見し、阻止しようとして亡くなったとのこと。本当にいたたまれない。

しかし台湾は全体的には治安が良く、暴力犯罪の発生率は低い。中でもこのような襲撃事件は稀で、台北で同様の事件が前回起きたのは10年以上前の2014年だと言われている。これから仕事や旅行で台湾訪問を予定されている方におかれては、「様子がおかしいと感じた場所には近づかない」などの対策を取っていただきながら、是非、食事がおいしく人々が温かい「普段どおり」の台湾を楽しんでいただきたい。



## 静岡県 海外駐在員事務所

### ●東南アジア駐在員事務所（シンガポール）

住所	12 Eu Tong Sen Street, #04-168 The Central(S0H02), Singapore 059819		
電話	+65-6221-0432	FAX	+65-6221-0477
URL	<a href="http://shizuoka.sg/">http://shizuoka.sg/</a>		
E-mail	fujinokuni@shizuoka.sg		

### ●中国駐在員事務所（上海）

住所	上海市長寧区延安西路 2201 号 国際貿易中心 2611 室		
電話	+86-21-6275-0909	FAX	+86-21-6275-8856
URL	<a href="http://www.shizuokash.com">http://www.shizuokash.com</a>		
E-mail	ilfjs@shizuokash.com		

### ●韓国駐在員事務所（ソウル）

住所	韓国ソウル特別市中区武橋路 21 The Exchange Seoul ビル 6 階		
電話	+82-2-777-1835	FAX	+82-2-777-1837
URL	<a href="http://shizuokaseoul.com/">http://shizuokaseoul.com/</a> <a href="https://blog.naver.com/goshizuoka">https://blog.naver.com/goshizuoka</a>		
E-mail	shizuoka@shizuokaseoul.com		

### ●台湾駐在員事務所（台北）

住所	台北市中山区南京東路二段 137 号 連邦商業ビル 13 階		
電話	+886-2-2508-1515	FAX	+886-2-2503-5303
URL	<a href="http://www.shizuoka.org.tw/">http://www.shizuoka.org.tw/</a>		
E-mail	shizuoka.tw@gmail.com		

### <日本での連絡先>

静岡県 企画部 地域外交課

住所：静岡市葵区追手町 9-6

電話：054-221-2572 F A X：054-221-2542

E-mail：kokusai@pref.shizuoka.lg.jp